

# 「救援活動には水も重要」

AMDDA 講演で援助を訴え  
菅波代表

岡山



援助活動における水の重要性を強調する菅波代表

来にわたくしたちの医療と  
シヨイントプロジェクトが  
組めるときがくればうれし  
いと締めくくった。

本年度の日本水道協会岡  
山県支部管理職研修会が六  
日、岡山市表町一の岡山シ  
ンフォニーホールで開か  
れ、関連医療NGOの「A  
MDDA」(アジア医師連絡

協議会、本部・岡山市)の  
菅波茂代表が「AMDDAと  
水」と題して講演した。A  
MDDAがさまざまな国や地  
域で展開している救援活動  
でも医療のほかに水や土木  
が重要な位置を占めること  
を示し、活動への協力を訴  
えた。

県内各地の自治体などの  
水道事業管理職約五十人が  
出席。菅波代表は約二時間  
にわたり、救援活動の実際  
を示しながら講演した。

菅波代表は、ルワンダや  
チエチエン、アンゴラなど  
の救援プロジェクトで、水  
が原因でコレラがまん延し  
た事実や、汚れた水を飲料  
水にして下痢を起し、多  
くの子供が死亡しているこ  
とをあげ「きれいな水が確  
保できていないことや、衛  
生知識がないことが難民の

健康状態に悪影響を与えて  
いる」と述べた。  
また、政府開発援助(O  
DA)活動として、今月中  
旬にアフリカ・ザンビアに  
向かうことにも触れ、「首  
都ルサカ周辺のヘルセン  
ター(診療所)の機能充実  
を果たすためにも、水の状  
態がどうなっているかは重  
要な調査項目」とした。

最後に菅波代表は「水の  
プロとして、地方自治体O  
DA参加という形を岡山で  
広げてもらえれば。近い将